

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：北陸地方整備局 建設部 都市・住宅整備課
担当課長名：細萱 英也

事業名	都市計画道路 <small>おちやかきざき</small> 小千谷柿崎線	事業区分	街路	事業主体	新潟県
起終点	自：新潟県上越市柿崎区柿崎字家之地前 <small>かきざきくかきざきあざいえのちまえ</small> 至：新潟県上越市柿崎区柿崎字住吉町 <small>すみよしちよう</small>			延長	0.6km
事業概要：当路線は、国道8号と（一）犀潟柿崎線を結び柿崎市街地を東西に横断する路線で、沿線には学校・行政施設のほか第二次救急医療施設「県立柿崎病院」が存在する。また、北陸自動車道柿崎ICからJR信越本線柿崎駅までのルートの一部であり、緊急輸送道路にも指定されている。しかしながら当路線は歩道が無く、車道は大型車同士のすれ違いが困難な状況にあることから拡幅整備を行うものである。					
H11年度事業化		H2年度都市計画決定		H11年度用地着手	
H13年度工事着手					
全体事業費	32億円		事業進捗率	97%	
供用済延長	0.3km				
計画交通量	4,800台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業/事業全体)		総便益 (残事業/事業全体)	
	1.4	0.85/35億円		23/50億円	
	(残事業)	(事業費：0.85/35億円) (維持管理費：0/0億円)		(走行時間短縮便益：22/48億円) (走行経費減少便益：0.86/2億円) (交通事故減少便益：0/0億円)	
基準年：平成20年					
事業の効果等 上越市北部地区における救命救急時および災害時における確実性のある道路ネットワークを形成するとともに安全で快適なまちづくりが可能となる。					
関係する地方公共団体等の意見 上越市都市計画マスタープランにより市域内幹線道路として位置づけられており、幅員が狭いことや歩道が無いことから地元から早期の完成を望まれている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成17年1月1日に上越市と周辺13市町村が合併して人口約21万人の上越市が誕生したことにより、地域の連携を図る道路ネットワークの早期整備が必要である。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成18年度に起点側からL=332mが供用し、国道8号から県立柿崎病院間のアクセス性が向上した。平成21年度は、残りのL=286mの舗装工事等を施工し、全線供用する予定。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 一部用地交渉が難航したが残り1件の地権者と合意が目前であり、現在は事業を阻害する要因は無い。					
施設の構造や工法の変更等 なし					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられ、また、平成21年度に残り工事を進め全線供用する予定であり、「継続」と判断する。					
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。